

全教栃木 教育新聞

「学びたい」、「つながりたい」...

青年組合員の要求で、学習会を開催！

全栃木教職員組合は8月8日～9日、那須町の「那須ビレッジ」で学級づくりの学習と、この3月に退職された組合員の慰労を兼ねた会を実施しました。

以下の文章は、この学習会の計画から準備までを担当した青年組合員からの報告です。

「学級組合全教栃木」のイベントは、
学習会からスタート！

全国生活指導研究協議会（全生研）全国常任代表を務める齋藤修先生を千葉からお迎えし、「学級集団づくり」についてゲームを交えながら、楽しく学ぶ事が出来ました。子どもにとらえ方、保護者との関係の作り方等、校種を問わず夏休み明けからすぐ使えるような内容の「濃い」学習会となりました。

その後、豪雨に負けずに栃木産のおいしいお肉でBBQ、組合に入ったきっかけや職場交流を含めた自己紹介で大盛り上がり。私自身が初対面であったり、深い話をするきっかけのなかった組合員の方もいましたが、おいしいお料理と楽しい話で、輪を広げる事ができたように思いました。

その後、女子コテージでは10年後の組合の姿を考え、今後私たちがもっと意欲的に学んでいく必要性、今回の学習会の良かったことや、改善していくべきことなどを話し合いました。

2日めの朝は、手作りカレーとしじみの味

教え子を再び戦場に送るな



噌汁でやる気をチャージ。全員で「ウルトラマンじゃんけん」をして頭を活性化させたところで、谷秀夫書記長に組合の歴史や憲法に関する報告を聞きました。教育は憲法に基づいて行われるべきものであること、組合員とは要求に基づいて団結している集団であること等を再確認したり、理解を深めたりすることができた学びの多い学習会でした。

会の最後は職場・感想交流でした。久しぶりに組合の行事に参加して元気いっぱいになった先生。来年も教員を続ける勇気が出た先生。組合員の拡大のため職場の仲間と対話をしていく決意をした先生。まさに「会えば元気、語れば勇気」！

輪（つながりたい）

和（なごみたい）

WA（知って、学んでびっくり）

の会となりました。

今年度の定期大会の後、半ば勢いでスター

全栃木教職員組合（全教栃木） 全日本教職員組合（全教）に加盟しています。
〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30 TEL 028-653-0353 FAX 028-653-1579
http://www.zenkyotcg.org E-mail info@zenkyotcg.org

トしたこの企画でしたが、皆さんが参加して下さる事で、大変実りの多い会になったように思います。次年度以降も継続して開催していきたいと考えています。そのためにも、学級づくりについて学びたい、私たちの働き方について考えたいと思っている青年教職員の組合加入を訴えたいと思います。

学級のパワーアップ

右の写真は講師の齋藤先生が学級に掲示している「4の1 パワーアップ」のグラフです。日常の活動や行事、あるいはトラブルを乗り越える中で、学級としてまとまっていく



ようすを、子どもたちにも視覚的に自覚させるグラフです。

どの学級でも今から

でも使えると思います。今までの取り組みを学級として総括し、実現できなかった目標や新たな目標を設定して、子どもたちのやる気と自己肯定感を高められる学級をめざしてはいかがでしょうか。

第51回栃木県教育サークル協議会研究集会

栃木の教育を考える集会

主催 栃木県教育サークル協議会

「栃木の教育を考える集会」実行委員会

【日 時】2014年9月20日（土）13:30～17:00

【場 所】宇都宮大学 教育学部A棟2階2201教室

【日 程】受付13:00～

【資料代】1,000円

13:15～14:45 パネルディスカッション（75分）

「学校現場はどうなっているのか？ その悩みと課題」

15:00～16:30 記念講演（90分）

16:40～17:15 質 疑（35分）

記念講演

「安倍政権がつくる社会に対して、学校現場でどう向き合うか」

講師 一橋大学教授 中田 康彦 先生

【連絡先】事務局 平野 秀雄 TEL 0285-72-1977

教員免許更新制を廃止させよう パワーハラスメント・長時間過密労働をなくそう

「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい」を香川で開催！

「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい」が、8月16日から18日までの3日間香川で開催されました。

香川県は義務制では栃木県教職員協議会と同様に、全日本教職員連盟傘下の香川県教職員連盟が多くの教職員を組織しています。高校組織の香川県高等学校教職員組合（香川高教組）は、栃木県高等学校教職員組合と同様に日本高等学校教職員組合麹町派に加盟していましたが、教育基本法の「改正」については香川高教組の立場とは相容れないとして、2004年に脱退し全教に加盟しています（脱退に至るまでの状況は、私たちのHPで紹介しています）。このような香川県での教育研究集会の開催でした。

集会にはのべ5000人の教職員、父母、市民が参加しました。栃木からは5名の組合員が参加しました。

参加した組合員の感想を紹介します。

○初めての参加となった集会では、「学校」って本当はどんなところ？—いじめ・体罰問題から「学校」について考えよう—というフォーラムに参加した。報告は2つあり、名古屋市立中学校2年生転落事件と「非行」に関する調査研究であった。

自殺事件、非行ともに話題として出てきたのがゼロ・トレランスについてである。「寛容性0」で指導に当たるのが本当に子どもたちのためになるのか？という議論があった。しかし、子どもとじっくり向き合う時間が確保できないほどの長時間労働が根底には存在しており、多くの教師の理想が奪われている

教え子を再び戦場に送るな 30人学級を実現してゆきとどいた教育を



開会集会での絵本作家の松本春野さんと東京大学教授の小森陽一さんの対談のようす。

のが現実である。ぜひとも、この長時間労働に関しては改善に向けて活動していく必要性があると改めて感じた。

鹿沼市の中学校勤務の男性組合員

○17日の外国語教育分科会では 和歌山大学の江利川春雄先生による基調報告。政府・財界による教育改革の柱は、要するに1割のエリート育成。机上の思いつきと妄想で推し進めるため到達目標はコロコロ変わり、内容も支離滅裂。

次いで兵庫県の高松理恵子先生より小学校の現状報告。久しく英語から遠ざかっている先生方が教えるのは大変。習う側から見れば最初の指導者が最も大切。指導する側も韓国のように研修を受けているわけでもないのに。

私たちは、世界平和・民族共生・人権擁護・民主主義・環境保護・連帯につながる英語教育を目指すべきだとあらためて考えました。また、小学校低学年での英語教育は、母

国語の破壊と英語嫌いを引き起こすというデータもあり、その危険性を周囲にも訴えていくべきだと思います。

篠原章彦執行委員長（小山西高校）

○「教科書」検定基準の変更

教育フォーラム1のパネリスト出版労連の寺川徹さん。「教科書検定審査の基準が変わった。内閣決定などに反する記述が認められなくなる。さらに『1発ドボン（即不合格）』可能な項目が追加され、編集者は衝撃を受けている」。「具体的な即不合格基準は何か」の質問に文科省は「実例が出たら示す」と答えたそうである。筆は鈍らざるを得ない。

未来を大きく変えようとする勢力は、道徳教育などに目を向けさせつつ仕上げに向け大きく舵を切ったように思った。

高久栄一執行副委員長（佐野松桜高校）

○国語教育分科会は1日目の午前中、教科書検定結果の分析と政権下での教科書制度の改悪と言語の実践報告がとても印象的だった。教科書の索引ですら表現を変えさせられたり、戦争教材が扱われなくなったり…。また教科書の中に「十七条の憲法」が入っており、いかに教えるのか。また、低学年に意味も教

えないまま短歌（百人一首など）を暗記させるような実態も報告されていた。

国語をとおして何を子どもたちに伝えていくのか、わたしたち教員自身が教科書をよく吟味して取り組み方を考えていかなければならないと思った。大学事情として、就職率がよくないとの理由で文学部が消えつつあるという事実にも驚いた。

宇都宮市の小学校勤務の女性組合員

○社会科教育分科会では、文部科学省検定済の教科書さえ使用を認めない教育委員会、授業での内容を深めるために用いた教材について、「変更している」「一方の意見だけしか紹介しておらず、公平でない」といったような教育への介入が各地で起きていることが紹介された。公務員としての憲法尊重擁護義務を果たすべく、真摯に教育活動に取り組んでいることにも介入する時代になったのかと暗澹たる気持ちになった。

教科書研究の第一人者であった故本多公榮氏の「教育不敗の思想」を想起しつつ、歴史の事実に基づいた授業を今以上にがんばって行っていきたい。

谷 秀夫書記長（佐野常盤中）

賃上げを勧告した人事院 来年度からは、賃金水準の引き下げも…

ご存じのように人事院は8月7日、1090円の月例給改定と一時金（ボーナス）の0.15月引き上げを勧告しました。

しかしながら、右の資料のように来年度は賃金水準を平均2%、最大で4%引き下げる「給与制度の総合的見直し」も勧告しました。私たちは公務労組連絡会に結集して署名運動や交渉を行ってきました。

しかし、全日教連や栃教協からこのような情報は一切報じられませんでした。このような団体にみなさんの生活を安心してまかせられますか？

なお、この勧告を受けて27日に、県人事委員会に対して要請を行いました。



教員免許更新制を廃止させよう パワーハラスメント・長時間過密労働をなくそう